

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日

2023年6月20日発行
2023年6月28日改定

壊して、
生かす。



株式会社 力組

目 次

ページ

I 組織の概要	… 3
1) 組織概要に関する情報 1、事業所及び代表者名 2、創業 3、設立 4、資本金 5、所在地 6、環境管理責任者及び担当者連絡先 7、事業の概要 8、事業の規模 9、用途地域	
2) 許可内容・許可一覧 1、許可の内容 2、事業の範囲	… 4
3) 施設等の状況 1、処理施設 2、積替え・保管施設	
4) 処理工程図	(別紙1)
5) 処理実績	(別紙2・3)
6) 保有車輛・保有施設 1、保有車輛 2、保有施設 3、保管施設	… 5
II 対象範囲	… 6
1) サイト	
2) 事業活動	
3) 要員	
4) 環境経営レポートの対象範囲	
III 環境方針	… 7
IV 環境組織図	… 8
1) 組織図	
2) 役割・責任・権限	
V 環境目標	… 9
VI 環境目標の実績	… 10
VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況	… 11
VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況	… 13
1) 環境関連法規等の順守状況 2) 違反、訴訟の有無	
IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度	
X 代表者による全体評価と見直しの結果	

(別紙4)

I 組織の概要

◆ 1) 組織概要に関する情報 ◆

- | | | | |
|-------------------|--|--|--|
| 1、事業所及び代表者氏名 | 株式会社 カ組 代表取締役 仲宗根 朋希 | | |
| 2、創業 | 1982年 4月 15日 | | |
| 3、設立 | 1989年 3月 23日 | | |
| 4、資本金 | 2,000万円 | | |
| 5、所在地 | ◆ 本社 | 〒455-0806 愛知県名古屋市中区明正一丁目143番地
TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739 | |
| | ◆ リサイクルセンター | 〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地
TEL 0567-57-0027 FAX 0567-57-0028 | |
| | ◆ 積替え保管場 | リサイクルセンター内 | |
| 6、環境管理責任者及び担当者連絡先 | | | |
| | ◆ 責任者氏名 | 仲宗根 彩香 | |
| | ◆ 担当者連絡先 | TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739 | |
| 7、事業の概要 | 建設業（とび・土工工事業、解体工事業）
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業 | | |

8、事業の規模

活動規模		単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高		百万円	569	817	666
従業員		人	19	21	25
床 面 積	本社	m2	186.69	186.69	186.69
	リサイクルセンター	m2	1,879.99	1,879.99	1,879.99
	積替え保管場	m2	67.61	67.61	67.61
処 理 量	収集運搬量	t	5,986	5,835	4,800
	中間処理量	t	2,555	2,686	2,732
	解体工事件数	件	344	324	364

9、用途地域

- ◆本社 近隣商業地域
◆リサイクルセンター 工業地域

◆ 2) 許可内容・許可一覧 ◆

1、許可の内容・事業の範囲

内容	許可年月日	許可番号
	有効年月日	
建設業（解体工事業）	令和4年11月15日	愛知県知事許可(特-4) 第34704号
	令和9年11月14日	
建設業（とび・土工工事業）	令和2年9月14日	愛知県知事許可(般-2) 第34704号
	令和7年9月13日	

内容		許可年月日 有効年月日	許可番号	許可内容									
				汚泥	チ ツ ク 類	廃 プ ラ ス チック	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガラスくず・コン クリートくず及び陶 磁器	が れ き 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず
産業廃棄物収集運搬業													
愛知県	積替え・保管を除く	令和4年11月9日	第02310047984号								●※1	●※1	●※1
	積替え・保管を含む	令和9年6月9日			●※2		●※1	●※2	●※2				
岐阜県	積替え・保管を除く	令和4年1月15日	第02100047984号		●※3		●※3	●※3	●※3	●※3	●※3	●※3	●※3
		令和9年1月14日			●※3			●※3	●※3	●※3	●※3	●※3	
三重県	積替え・保管を除く	令和3年12月11日	第02400047984号		●※3		●	●※3	●※3	●	●	●	
		令和8年12月10日			●※3			●	●※3	●※3	●	●	
静岡県	積替え・保管を除く	令和4年10月3日	第02400047984号		●※3		●	●※3	●※3	●	●	●	
		令和9年10月2日			●※3			●	●※3	●※3	●	●	
産業廃棄物処分業		令和4年11月4日	選別		●		●	●	●	●	●	●	
			破碎				●	●					
		令和9年6月17日	破碎				●						
			第02320047984号										

◆ 3) 施設等の状況 ◆

処理施設 施設所在地	設置年月日	処理能力		許可内容									
				汚泥	チ ツ ク 類	廃 プ ラ ス	ゴ ム く ず	金 属 く ず	リ ー ト く ず ・ コ ン ク リ ー ト く ず 及 び 陶 磁 器	が れ き 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず
選別施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23	平成14年4月25日	143.04m3/日			●			●	●	●	●	●	●
破碎施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23	平成30年8月1日	4.62 t /日							●				
		3.63t/日							●				
破碎施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23	令和4年4月22日	44.8t/日							●				
積替え保管施設 施設所在地	面積	保管上限	高さ	処理品目									
				汚泥	チ ツ ク 類	廃 プ ラ ス	ゴ ム く ず	金 属 く ず	リ ー ト く ず ・ コ ン ク リ ー ト く ず 及 び 陶 磁 器	が れ き 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず
保管場所 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23	23.18m2	54.04m3	—		● ※2			● ※1	● ※2	● ※2			

※1 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※2 石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 石綿含有産業廃棄物を含む

◆ 4) 処理工程図 ◆ 別紙1に示す

◆ 5) 処理実績 ◆ 別紙2・3に示す

◆ 6) 保有車輛・保有施設 ◆

1、保有車輛

車輛区分	種類	メーカー・型式・車種	容量
車輛(解体)	油圧ショベル	SH235X-7	0.7m ³
		PC138US-11	0.5m ³
		PC78US-10	0.28m ³
		PC138US-11-10	0.45m ³
		PC128US-10	0.45m ³
		ZX130K-3	0.5m ³
運搬車輛	コンテナ	日産KK-MK25A	4 t
		いすゞKK-FRR35E4S	4 t
		いすゞ2RG-FRR90S2	3.7 t
	ダンプ	UDSKG-MK38L	3.25 t
		いすゞ2RG-NKR88AN	3 t
		いすゞKL-CXZ51K4	9.2 t
		いすゞTKG-FRR90S1	3.4 t
		UDBDG-MK36C	3.3 t
車輛(処分)	フォークリフト	トヨタ 7FD30	2,800kg
	ペイローダー	コマツWA100-5	1.3m ³
営業車輛	普通車	トヨタ6AA-ZVW51/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタDAA-ZVW50/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタ6AA-ZVW51/プリウス	1.79 ℓ
		サクシードDBE-NCP160V	1.49 ℓ
		サクシード6AE-NHP160V	1.49 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ
		トヨタ6AA-NHP10/アクア	1.49 ℓ

2、保有施設

リサイクルセンターは、下記設備をベルトコンベアーで組合せ連続的に処理品目を分別しています。

機械設備	種類	動力・負荷・容量
集塵機ファン	サイクロン、フード付	22kw
ベルトコンベヤ 6基	ベルトフィーダー B 1	900W×4.5メートル
	ベルトコンベヤー B 4	750W×20.3m
	ベルトコンベヤー B 2	600W×17.2m
	ポータブルベルトコンベヤー B 5	450W×5メートル
	ベルトコンベヤー B 3	600W×8.5m
	ポータブルベルトコンベヤー B 6	500W×5m
破碎機	6P低圧全閉外扇型	22KW
破碎機	フリッタ FRB2	15KW
フルイ機	一次振動フルイ機	5 f t × 14 f t - 2段
	二次振動フルイ機	4 f t × 12 f t - 1段
磁選機	モーター2個	2.6kw、2.2kw

3、保管施設

施設種類	種類	保管施設	保管面積	最大保管量
選別前保管施設	混合物	ストックヤード A	170.27 m ²	113.51 m ³
	混合物	ストックヤード M	73.53 m ²	72.55 m ³
選別後保管施設	混合物	ストックヤード G	12.56 m ²	4.19 m ³
	ガラス陶磁器くず	ストックヤード C1	44.8 m ²	20.16 m ³
	ガラス陶磁器くず	ストックヤード C2	21 m ²	9.45 m ³
	ガラス陶磁器くず	ストックヤード C3	11.4 m ²	12.54 m ³
	紙くず	コンテナ D1	2.12 m ²	2.1 m ³
	木くず	コンテナ D3	6.88 m ²	8.05 m ³
	廃プラ	コンテナ D4	6.88 m ²	8.05 m ³
	繊維くず	コンテナ D5	6.88 m ²	8.05 m ³
	がれき類	コンテナ S	6.88 m ²	8.05 m ³
	金属くず	コンテナ E	6.88 m ²	8.05 m ³
	混合物	ストックヤード H1	28.26 m ²	14.13 m ³
	混合物	ストックヤード H2	28.26 m ²	14.13 m ³
選別後破碎前保管施設	がれき類	コンテナ D2	6.88 m ²	8.05 m ³
	ガラスくず	ストックヤード B	6.88 m ²	8.05 m ³
破碎後保管施設	がれき類	コンテナ I	6.88 m ²	8.05 m ³
	瓦リサイクル製品 _{5~15mm}	ストックヤード F	28.26 m ²	14.13 m ³
	瓦リサイクル製品 _{0~5mm}	ストックヤード K	48 m ²	21.33 m ³
	瓦リサイクル製品 _{15~30mm}	ストックヤード O1	12.56 m ²	4.19 m ³
	フレコンバック保管	コンテナ J3	6.88 m ²	8.05 m ³

II 対象範囲

◆ 1) サイト ◆

◆ 本社	〒455-0806 愛知県名古屋市中区明正一丁目143番地	(186.69m ²)
◆ リサイクルセンター	〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地	(1879.99m ²)
◆ 積替え保管場	リサイクルセンター内	(23.18m ²)
◆ 解体	各解体現場	

◆ 2) 事業活動 ◆

建設業（とび・土工工事業、解体工事業）
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

◆ 3) 要員 ◆

全従業員

◆ 4) 環境経営レポートの対象範囲 ◆

今年度の活動は2022年4月1日～2023年3月31日とし、
次年度は、2023年4月1日～2024年3月31日といたします。

Ⅲ 環境方針

基本理念

株式会社力組は、解体業と産業廃棄物処理業に両軸において事業展開しています。『壊して、生かす。』をモットーに事業活動の中で解体現場から最終処分までの責任を担い、産業廃棄物リサイクル向上を目指して、循環型社会構築への取組を積極的かつ継続的に改善していきます。

基本方針

1 環境法規等の遵守

事業活動にあたって、法規制・条例及びその他の要求事項を遵守します。

2 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量削減、またエコドライブを徹底して二酸化炭素（CO2）の排出量を削減します。

3 廃棄物リサイクル率の向上

廃棄物の最終処分量を減らし、リサイクル率の向上に取り組みます。

4 解体工事現場における負荷低減

現場での分別解体を徹底します。

現場周辺への騒音、振動、ほこり、交通の妨害等起こさない様努力します。

5 水使用量の削減

節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。

6 グリーン購入

事業活動を通じ、グリーン購入を推進します。

制定 2010年9月1日

改定 2023年6月19日

株式会社 力組
代表取締役 仲宗根 朋希

Ⅳ 環境組織図

◆ 1) 組織図 ◆



◆ 2) 役割・責任・権限 ◆

役職	役割・責任・権限
代表者	1、環境方針作成・環境管理責任者任命 2、取組に対する資源を準備 3、取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	1、環境管理システム総責任者 2、環境目標・環境活動計画の作成 3、文書の作成・システム運用の事務管理 4、環境管理活動計画の実績集計 5、環境活動レポートの作成 6、教育実施・状況・結果確認 7、環境活動レポートの確認
各サイト責任者	環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	自主的・積極的に環境活動へ参画 ・エコドライブ、空調管理、節電の徹底 ・分別解体、廃棄物選別 ・節水

V 環境目標

環境目標・取組みの基本方針

事業活動が環境にどのような影響を与えているのかを考え、化石燃料、電力使用による

二酸化炭素排出量の削減、及び水使用量の削減、また、廃棄物リサイクル率(以後、R C 率とします) の向上、グリーン購入などを重点に取組みます。

				単位【原単位】	基準数値 2020.4- 2021.3	【第12期】目標 2022.4- 2023.4	【第13期】目標 2023.4- 2024.5	【第14期】目標 2024.4- 2025.5	【第14期】目標 2024.4- 2025.5	前年比 (%)
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電力	産廃部門		kWh/廃棄物処分量 t	6.82	6.75	6.68	6.62	6.55	1
		本社		kWh	4263	4220	4178	4135	4092	1
	燃料	産 廃 部 門	産廃重機	ℓ /廃棄物処分量 t	3.1	3.08	3.07	3.05	3.04	0.5
			産廃車両	ℓ /廃棄物運搬量 t	5.06	5.03	5.01	4.98	4.96	
		解 体 工 事 部 門	解体重機	ℓ /廃棄物現場排出量 t	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	---
			営業車両	ℓ	6082	6052	6021	5991	5961	0.5
	kg-CO2（合計）				203,492	202,867				
廃 棄 物 R C 率 向 上	産廃	産廃部門		再資源化量 t /廃棄物処分量 t ×100	73.4	73.40	73.40	73.40	73.40	---
		解体工事部門		再資源化量 t /廃棄物現場排出量 t ×100	83.6	84.02	84.44	84.85	85.27	0.5
	一廃	本社	再資源化量 t /廃棄物社内排出量 t ×100	27.69	27.8	28.0	28.1	28.2	0.5	
水 使 用 量 削 減	水使用量	産廃部門		m/廃棄物処分量 t	0.0481	0.0479	0.0476	0.0474	0.0471	0.5
		解体工事部門		m³/廃棄物現場排出量 t	0.1018	0.1018	0.1018	0.1018	0.1018	---
		本社		m³	52	51.5	51.0	50.4	49.9	1
グリーン購入				点	14	14	14	14	14	---
電子マニフェスト導入		一次		1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚×100	89.3	90.2	91.1	92.0	92.9	1
		二次		2次電子マニフェスト枚/全2次マニフェスト枚×100	—	数値把握	準備	準備	準備	---

- ・ 電力の二酸化炭素排出係数は中部電力(株)の2016年度、0.480を使用しています。
- ・ 当社は、化学物質については使用はありません。

2020年度の数値をベースとして、すべての目標値を見直ししております。

- ・ 本社電力、営業車両燃料、本社排水量は原単位ではなく実数値です。
- ・ 営業車両においては台数増加の為、11期の総量を改めて把握し、それをベースに12期以降の目標を定めます。

VI 環境目標の実績

				単位【原単位】	基準数値 2020.4- 2021.3	【第12期】目標 2022.4- 2023.4	【第12期】実績B 2022.4- 2023.3	B/A	評1 ※1	目標達成・ 未達の原因等
二酸化炭素排出量の削減	電力	産廃部門		kWh/廃棄物処分量 t	6.82	6.75	6.40	0.94	○	今年は処分量 t と比べると設備稼働時間が長く稼働電力kwは大きかったが、意識はできていた。まだ節電努力が必
		本社		kwh	4,263	4,220	4,120	0.98	○	残業時間が減り有休消化数が増えたこともあり実質的な消費電力自体が減った。実数値の把握に努め、節電に努めることができていた。
	燃料	産廃部門	産廃重機	ℓ / 廃棄物処分量 t	3.10	3.08	2.86	0.92	○	エコドライブ等実施ができていた。
			産廃車両	ℓ / 廃棄物運搬量 t	5.06	5.03	4.98	0.98	○	
		解体工事部門	解体重機	ℓ / 廃棄物現場排出量 t (自社施工)	5.33	5.33	4.47	0.84	○	大規模現場でも、休憩時や重機の未使用時にエンジンオフする等の取り組みができていた
			営業車両	ℓ	6,082	6,052	7,669	1.27	×	
	kg-CO2 (合計)				203,492	202,867				
廃棄物R C率向上	産廃	産廃部門		再資源化量 t / 廃棄物処分量 t ×100	73.40	73.40	77.08	1.06	○	昨年と比べると全排出量に差はないが土壁等の最終処分量が増加した。年度途中にリサイクル率の目標の見直し、現状に近い目標をたてたがリサイクル率の向上という点では現状維持を継続したい
		解体工事部門		再資源化量 t / 廃棄物現場全排出量 t ×100	83.6	84.02	85.14	1.01	○	年度途中に一度目標の見直しをし、選別・分別の徹底を図ったが思うような結果に繋がらなかった。継続して選別・分別に努める
	一廃	本社		再資源化量 t / 廃棄物社内排出量 t ×100	27.69	27.8	31.55	1.14	○	分別を徹底できていた
水使用量削減	水使用量	産廃部門		m ³ /廃棄物処分量 t	0.0481	0.0479	0.0384	0.80	○	節水を徹底できていた
		解体工事部門 ※1		m ³ /廃棄物現場全排出量	0.1018	0.1018	0.0755	0.74	○	粉塵等飛散防止や現場清掃のため水使用量の増加があったが節水に努めることができた。このまま数値の把握に努めます。
		本社		m ³	52	51.5	52	1.01	×	毎年数値に大きく変動はないように思うが、実数値の把握に努め、節水に努める。
グリーン購入				点	14	14	15	1.07	○	優先して購入できていた
電子マニフェスト導入		一次	1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚×100		89.3	90.2	98.4	1.10	○	電子マニフェスト加入業者の優先ができていた。今年度は1社のみ紙マニフェスト枚×100
		二次	2次電子マニフェスト枚/全2次マニフェスト枚×100		—	数値把握	69.9	—	—	今年度途中より電子開始しました。今回の結果を踏まえて来年度の目標をたてます。

単純比較でB/Aが削減目標において1以下、向上目標では1以上なら目標達成で○印、それ以外は目標未達で×印。

※ 1 解体工事現場において排水量は把握のみとする

実績値	電力 k w h	軽油（重機） ℓ	軽油（車両） ℓ	ガソリン ℓ	収集運搬量 t	処分量 t	再資源化量 （処分）t
解体	—	29,163	—	7,669	—	—	—
産廃	17,491	6,815	23,887	1,001	4,800	2,732	2,106
本社	4,120	—	—	—	—	0.187	0.059

実績値	全排出量 t	全再資源化量 （排出）t	排出量 （自社施工）t	再資源化量 （自社施工）t	水使用量 m ³
解体	7,472	6,362	6,520	5,183	399
産廃	—	—	—	—	105
本社	—	—	—	—	52

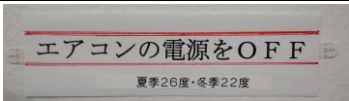
実績値	電子マニ 枚	紙マニ 枚
解体 一次	2,108	35
産廃 二次	318	137

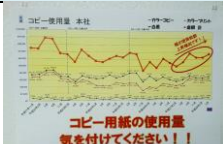
k g -CO2	電力	軽油 （重機）	軽油 （車両）	ガソリン	
解体	—	75,241	—	17,793	
産廃	8,256	17,583	61,628	2,323	
本社	1,945	—	—	—	
合計	10,200	92,823	61,628	20,116	総合計
					184,768

昨年度	8,908	104,010	47,854	16,502	177,273
-----	-------	---------	--------	--------	---------

Ⅶ 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第12期・環境活動計画(2022年4月1日～2023年3月31日)

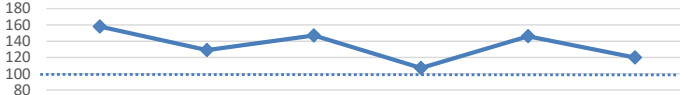
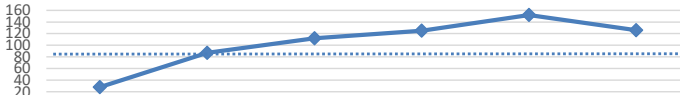
1.二酸化炭素の排出量の削減													
運用期間環境目標		2022年										2023年	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
取組内容	毎月の電力使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	照明・冷暖房・PC時間管理	○			○			○			○		
	冷暖房温度設定(夏季26℃、冬季22℃)												
	空調設備点検(フィルター清掃)	○						○					
	機械設備稼働状況調査	○						○					
取組内容	毎月の燃料使用量の把握	○			○			○			○		
	エコドライブの徹底												
	車両日報の提出徹底	○			○			○			○		
	機械等の自主点検の実施												
取組状況													
     													
達成率(%)		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	評価		次年度の取組内容			
電力(産廃)		167	85	119	136	139	106	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。		継続			
電力(本社)		—	—	100	117	112	102	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。		継続			
燃料(産廃重機)		144	103	127	128	131	108	エコドライブや車両管理表等の提出努力がみられ、実施されている		継続			
燃料(産廃車両)		—	—	—	120	120	102	エコドライブや車両日報の提出努力がみられ、実施されている		継続			
燃料(現場)		43	127	108	171	197	116	実施されているが、遠方の現場や規模の大きい現場ではさらに意識を上げる特に県外現場や大規模現場への対策を考える		継続			
燃料(現場営業)※		—	—	3751	5754	6082	7669	車両台数の増減があるため、今後も実数の把握に努める		継続			

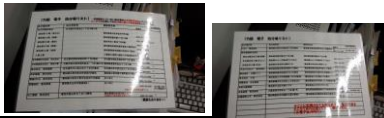
2.廃棄物リサイクル率の向上																
運用期間環境目標		2022年												2023年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
取組内容	毎月の廃棄物排出量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	廃棄物分別の徹底															
	梱包材・段ボール等紙類のリサイクル															
	コピーの裏紙使用徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	廃棄物の資源化率向上															
	マニフェスト管理・保管															
取組状況																
  																

Ⅶ 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第12期・環境活動計画(2022年4月1日～2023年3月31日)

達成率 (%)	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	評価	次年度の取組内容
リサイクル率 (産廃)	148	100	99	96	91	106	日々の管理・廃棄物量等の把握がきちんと出来、実施されているが混合廃棄物(壁土等)の選別分別を特に今後も徹底していく	継続
リサイクル率 (本社)	99	102	101	94	101	114	分別を徹底し実施されているがさらに努力が必要	継続
リサイクル率 (現場)	111	94	103	125	114	102	現場での選別を徹底しており再生処分率を高めるよう意識し、実施されているがさらに努力が必要	継続

3.水使用量の削減													取組状況				
運用期間環境目標			2022年						2023年								
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
取組内容	毎月の水使用量の把握		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
	節水の徹底		○			○			○			○					
	水漏れ等の点検		○			○			○			○					
達成率 (%)		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	評価						次年度の取組内容			
水使用量 (産廃)		158	129	147	107	146	120	実施されている						継続			
																	
水使用量 (現場)		28	87	112	125	152	126	解体現場では現場規模や周辺への環境配慮のため徹底が難しいが、意識すること を心掛ける						継続			
																	

4.グリーン購入の推進													取組状況			
運用期間環境目標			2022年						2023年							
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	グリーン購入量の把握															
	事務用品のグリーン率先購入															
5.電子マニフェスト導入													取組状況			
運用期間環境目標			2022年						2023年							
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	電子マニフェスト取扱い会社の把握・優先															
	取引先への電子マニフェスト導入を推進															
達成率 (%)		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	評価						次年度の 取組内容		
グリーン購入		131	142	123	117	108	107	優先して購入できており、実施されている						継続		
1次 マニフェスト		51	152	156	103	103	110	電子マニフェスト取扱い会社の把握はできており取扱い会社自体年々増加しているが、現状問題となっている下請会社への導入推進をさらに努力する						継続		
2次 マニフェスト ※実数		—	—	—	—	—	69.9	今年度より電子マニフェストを始めました。来年度は目標を定め、取引先へ推進しながら取り組んでいきたい。						継続		

VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況

1) 環境関連法規等の順守状況

環境関連法規については、遵守状況を確認した結果、下記法規を遵守していることを確認しました。

「環境基本法」・「建設リサイクル法」・「廃掃法」・「家電リサイクル法」・「フロン排出抑制法」・
「振動規制法」・「騒音規制法」・「浄化槽法」・「消防法」・「オフロード法」・「大防法」・
「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」・「県民の生活環境の保全等に関する条例」

2) 違反、訴訟の有無

過去 3 年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟も 1 件もありませんでした。

IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度

環境保全への取組み及び遵法性については、エコアクション21環境経営システムの運用を継続し、
認定取得を目指します。

X 代表者による全体評価と見直しの結果

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目		確認
	1	環境目標及び目標達成状況	☒ 継続して取り組みます
	2	環境活動計画及び取組実施状況	☒ 継続して取り組みます
	3	環境関連法規要求一覧及び順守状況	☒ 確認しました
	4	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特にありませんでした
	5	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 是正措置 4件ありました
	6	その他	☒ 特にありませんでした

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	営業車両の燃料使用量増加と解体工事における廃棄物リサイクル率の増加、また本社事務所において水使用量の増加があり、結果として営業車両の燃料使用量と本社事務所の水使用量は未達成となりました。		
	営業車両は車両台数の増加による実質燃料使用量の増加があったため、今後もエコドライブを継続しながら数量の把握に努めるよう指示しました。		
	解体工事現場では混合廃棄物（土壁等）の増加に伴う最終処分率の増加があった。現場での選別・分別を徹底し継続するよう指示しました。		
	本社では毎年数値に大きく変動はないが、節水をさらに呼びかけ、実数値の把握に努めるよう指示しました。		
	二次電子マニフェストも導入し、リサイクルセンターでも新たに瓦チップの再生事業を開始したので来期ではその活動が会社全体のステップアップにつながることを期待します。		
	2023年6月19日 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 朋希		
	見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項等
1	環境方針	有 ☐ 無 ☒	
2	環境目標	有 ☐ 無 ☒	
3	環境活動計画	有 ☐ 無 ☒	
4	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒	
5	その他（外部への対応）	有 ☐ 無 ☒	

別紙1：産業廃棄物の一連の処理の工程

(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

受入	廃棄物種類	処理方法	委託先 委託数量		処分方法・利用方法等	委託先 委託数量		処分方法・利用方法等
受け入れ	木くず					A社	破砕(燃料FyAとして売却)	
	紙くず					B社	圧縮(原紙として売却)	
	繊維くず					C社	破砕(リム・堆肥として売却)	
	がれき類					D社	破砕(路盤材として再生)	
						E社	破砕(路盤材として再生)	
						F社	破砕(路盤材として再生)	
						G社	破砕(路盤材として再生)	
						I社	管理型埋立	
						J社	管理型埋立	
						K社	安定型埋立	
	混合廃棄物 (残さ)					L社	管理型埋立	
						N社	選別 (洗い砂として有価売却)	
			O社	選別		P社	管理型埋立	
						Q社	管理型埋立	
						R社	管理型埋立	
						S社	安定型埋立	
						T社	安定型埋立	
						U社	安定型埋立	
						V社	安定型埋立	
						W社	安定型埋立	
						X社	破砕(燃料化)	
						Y社	破砕(燃料化)	
						Y社	破砕(燃料化)	
						Y社	破砕(燃料化)	
						Z社	管理型埋立	
						Z社	安定型埋立	
						AA社	破砕(路盤材として再生)	
					AB社	破砕	AC社	安定型埋立
							AD社	破砕(路盤材として再生)
							AE社	破砕 (防護砂・改良土として再生)
					AH社	破砕	AI社	混練(石膏*→ト・土壌改良材料として再生)
							AJ社	再生(石膏*→ト 原料)
					AL社	選別	AM社	破砕(石膏*→ト・土壌改良材料として再生)
							AN社	破砕・焼成
							AO社	管理型埋立
							AO社	管理型埋立
	廃プラスチック類		AQ社	破砕	AR社	破砕圧縮固化 (RPF燃料固化)		
					AS社	破砕造粒 (RPF燃料固化)		
					AU社	安定型埋立		
					AU社	安定型埋立		
			AT社	圧縮	AV社	安定型埋立		
	金属くず				AW社	破砕(有価物として売却)		

別紙2：環境への負荷チェック（取りまとめ表）

		単位	2022年 産廃	2022年 現場	2022年 本社	2022年 産廃+現場
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	89,789	93,034		182,823
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	4,800			4,800
	中間処理量	t	2,732			2,732
	うち再資源化等量	t	2,732			2,732
	最終処分量	t	0			0
	中間処理後の産廃の処分量	t	2,732			2,732
	うち再資源化等量	t	2,451			2,451
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	t	—	—		0.000
	産業廃棄物総排出量		2,731.92	7,471.76		10,203.68
	中間処理量	t	2,451	7,391		9,842
	うち再資源化量	t	2,019	6,459		8,478
	最終処分量	t	281	952		1,233
	再資源化率	%	74	86.4		86.1
総水使用量	公共用水域	m3	105	399	52	556
	下水道	m3	0	0	0	0
水使用量	上水	m3	105	399	52	556
	工業用水	m3	0	0	0	0
	地下水	m3	0	0	0	0
化学物質使用量		kg				
エネルギー使用量	購入電力	k w h	17,491	0	4,120	21,611
	建設現場等の購入電力	k w h	0	0	0	0
	太陽光設備	k w h	0	0	4,260	4,260
	ガソリン	ℓ	1,001	7,669	0	8,671
	軽油	ℓ	30,702	29,163	0	59,865
	その他	k w h	0	0	0	0
資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				

収集運搬量及び中間処理量はmを t 換算した数値です。

中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。

化学物質の使用はありません。

別紙3：受託した産業廃棄物の処理量

2022年度（2022年4月1日 ～ 2023年3月31日）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬		木くず		1560.3
		コンクリート・アスファルトがら		1320.3
		その他がれき類		403.9
		ガラス・陶磁器くず		414.1
		紙くず		0.0
		金属くず		0.0
		混合廃棄物		504.5
		繊維くず		15.2
		廃石膏ボード		247.8
		廃プラスチック類		151.9
		石綿含有産業廃棄物		182.2
	収集運搬量合計			
中間処理		ガラス・陶磁器くず	選別	1549.0
		がれき類	選別	494.7
		混合廃棄物	選別	577.2
		木くず	選別	9.4
		紙くず	選別	0.1
		繊維くず	選別	32.9
		廃石膏ボード	選別	59.7
		廃プラスチック類	選別	8.9
	うち再資源化等	ガラス・陶磁器くず	選別後 再資源化、最終処分	1549.0
		がれき類	選別後 路盤材化	494.7
		混合廃棄物	選別後 燃料チップ・紙・路盤材として再資源化、最終処分	577.2
		木くず	選別後 燃料化	9.4
		紙くず	選別後 紙として再資源化	0.1
		繊維くず	選別後 ワラ堆肥化	32.9
		廃石膏ボード	選別後 石膏粉・紙として再資源化	59.7
		廃プラスチック類	選別後 燃料化、最終処分	8.9
再資源化等量小計			2731.9	
中間処理合計				2731.9
最終処分				
最終処分量合計				0
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス・陶磁器くず	安定型最終処分場（委託）	89.0
		がれき類	安定型最終処分場（委託）	191.8
	再資源化等	木くず	委託後、燃料チップ・紙として再生利用（売却）	9.4
		がれき類	委託後、路盤材として再生利用（売却）	323.2
		廃プラスチック類	委託後、燃料として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	8.9
		紙くず	委託後、紙として再生利用（売却）	0.1
		ガラス陶磁器くず	委託後、路盤材として再生利用（売却）	1570.2
		繊維くず	委託後、ワラ堆肥として再生利用（売却）	32.9
		廃石膏ボード	委託後、石膏粉・紙として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	59.7
		金属くず	委託後、金属として再生利用（売却）	6.2
		混合廃棄物	委託後、チップ・セメント材・洗砂等の再生利用（売却）、未再資源化分は処理業者に委託	440.4
		再資源化等量小計		2451.1
		中間処理後処分量合計		

※中間処理量はmをt換算した数値です。
※中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。

別紙4

株式会社力組では2011年より「エコアクション21」取得による環境方針を策定・実践しております。

また、建物解体・リサイクル事業を通じて積極的にS D G sに取り組んでいます。

環境への取り組み（廃材の再資源化）



株式会社力組では、建物解体で発生した廃材・産業廃棄物を自社のリサイクルセンターによる選別で徹底した再資源化を行っています。

雇用促進と人材育成



事務職以外でも女性スタッフを積極的に採用することで男女の雇用機会均等や、各現場における専門的な知識・技術の習得ができるよう社員教育・安全対策に努めています。

また、社員の健康維持のため移動車両による健康診断の実施や各種免許・資格取得支援を積極的に行っています。

地域社会への貢献



地域社会への貢献として、日光川清掃活動、地元小学校への寄付活動を行っています。

「壊して、生かす。」

株式会社 力組